平成 20 年 2 月 1 日
第 9 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602

作業の安全確保を目指して

水路横断仮橋の改修に着手



仮橋の横断は慎重に行わないとつまずきや踏み外しの危険性が高い。場合によっては這うようして上り下りすることもあります（平成 19 年 7 月の点検作業）

八方原地区の用水路に２００メートルごとに農道が備わっていますが、途中の中間に位置する排水路（悪水）の管理などには大回りをする必要があります。そこで、現状では3本の木製の仮橋が据え付けられています。

これらは、電信柱などに板を打ち付けたような状況で安全性にも問題が少なくありません。昨年7月に行った一斉点検でも指摘された大きなポイントでした。

八方原の環境を守る会では、予算との兼ね合いなど調整してまいりましたが、ようやく今期に2カ所の仮橋を改修することを決定しました。

予定では材料は鉄製として、手摺を片側だけ設けます。道具を持っての利用が多いであろうということで歩行面は、階段ではなくしっかりとした滑り止め加工を施した平面とします。2月の完成を目指しておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

出初め式 堂々の八方原消防組



プラカードは林郁博団員、旗手は重富守朗団員

1月6日の市消防出初め式に引き続いて、小郡地区消防出初め式が新町の消防団練習場で行われました。

例年東津河川公園で行ってきましたが、タンチョウヅルの飛来があるということで場所が変更になりました。

分列行進では黒瀬和美組頭を中心に堂々と入場しました。今回は標的落しには参加できませんでしたが、一斉放水では消防組の心意気を存分に示しました。



一斉放水　左から２本目が八方原消防組

年々、消防組への支援が減少しています。また、小郡方面隊（元の小郡消防団）も同様で、則松団長の訓示も市への注文が続きました。災害のない年を願いたいものです。

見直そう農家の知恵

「としゃく」に伝統の技

「としゃく」という言葉はあまり耳にしなくなりました。稲わらを保存するための農家の知恵だったのですが、牛馬の飼育をしなくなったことや、コンバインの普及ですっかり姿を見なくなりました。

年明けの新聞記事で大分県安心院町で行われている「全国藁こづみ大会」のことを知りました。藁こづみとは大分地方で使われる名称で、日本各地に様々な呼び名があるようです。静岡では「ボッチ」、滋賀や和歌山では「ススキ」などと呼ばれています。山口県では「としゃく」が多いようです。島根県の温泉津町の「ヨズクハデ」や、愛媛県西予市の「ワラグロ」などという独特のものもあるようです。



岡田地区の花壇にある「としゃく」

安心院ではグリーンツーリズム研究会というものが立ち上がり、農業体験を通じた観光に取り組んでいます。その運動の一環で藁を積み上げる技術を競う大会を始めたのだそうです。

平成11年から始まった大会には全国からの参加者を集めています。昨年で9回目を迎えましたが、その間には中国や韓国、ベトナムからのチームも招いています。

大会の部門には伝統的な技術を競う「正調の部」と、藁を使ったオブジェを作る「創作の部」に分かれています。各地で伝統的に作られてきたものの中には、全く同じ形のものが、遠隔地で独自に伝えられていたというケースもあったそうです。

ありふれた日常の中に埋もれてしまった知恵が、新たな資源として再び光を放ち出したというところでしょうか。安心院での発端は、研究会のメンバーの知り合いがたまたま見た温泉津の「ヨズクハデ」の写真を、「出雲大社」だと勘違いしたことから始まったそうです。私たちの地区にもそんなお宝が隠れているかも知れません。



宮城県の稲の乾燥方法「げんび」、藁こづみ大会とは関係しませんが、面白い形

バスが路線を変更4月から

従来、県道を走っていたバス路線がこの春のダイヤ改正から地域内の市道に変更になることが決定しました。いよいよ当地区にも「バス通り」がやってきます。

昨年の春からこの路線については区の総会などで話し合われてきました。また、地区民の意見を原田信義区長は市や関係各所に伝え、実現に漕ぎ着けました。大いに利用いたしましょう。

雨をものともせず熱走

1月20日、第3回山口市駅伝大会がきららスポーツ公園で行われました。

大会には小郡地区からランナーズ小郡（原田茂樹会長）が出場しました。7区間のうち5区間を八方原地区選手が走り、原田裕基君（防府西高校2年生）は6区の区間賞、最終区の原田広文さんは区間8位の力走で、一般2部の14位（総合では66チーム中36位）に入る快走を見せました。



ゴール前の競り合い　西京高校ホッケー部との差70秒を逆転しゴールになだれ込む原田広文選手

当日はあいにくの雨、選手は体を冷やさないようにコンディションを整えるのが大変でした。

表彰式で清水芳夫審判長から一般2部6区区間賞を授与される原田裕基選手

